



《デコレータークラブー知覚を拒む》さっぽろアートステージ 2019 ART STREET「まなざしのスキップ」での展示風景・札幌文化芸術交流センター-SCARTS (2019)

Takehiro Iikawa

DECORATOR CRAB

Intercepting Perception

特別企画

飯川雄大 | デコレータークラブー^{こぼ}知覚を拒む

2020年7月23日[木・祝]ー10月18日[日]

高松市美術館 1階エントランスホール・ほか

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL.087-823-1711

開館時間=9:30-17:00 (特別展開催期間中の金・土は19:00閉館) 休館日=月曜日 8/10(月・祝)、9/21(月・祝) 開館、8/11(火)、9/23(水) 休館 観覧料=無料

主催=高松市美術館 協力=カミイクタキヤ/Art & Nepal/有限会社キューアンドエー/株式会社ティーハウス建築設計事務所

T **A** **M**
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM



2017年に高松アーティスト・イン・レジデンスに参加した現代アーティストの飯川雄大が3年ぶりに高松で展示を行います。本展示では「知覚を拒む」のテーマのもと、「デコレータークラブ」シリーズ(2007-)の新作を展開します。デコレータークラブとは周辺にある藻や貝殻を体中に貼り付けて擬態する蟹(和名:モクスジョイ)のこと。飯川は情報にあふれる現代を、捉えがたいこの蟹の実態にあてはめ、人と情報の関係を問い直してきました。写真に収めたくても全貌を捉えられない《ピンクの猫の小林さん》(2016-)、一見無関係と思われる物どうしをロープでつなげ、思いがけない構造を視覚化する《遠近の設計図》(2019-)、そのほか鑑賞者が目の前の壁を押し進めることで、別の空間に新たな事象が起る《0人もしくは1人以上の観客に向けて》(2019-)など、飯川の作品は私たちの周りにある情報が全体の一部でしかないこと、人の認識が不確かであることを思い出させます。それは驚きをとめない、日常生活の中で疑うことのなかった認識や情報について改めて考える機会となるでしょう。ぜひお楽しみください。

【関連イベント】

アーティストトーク「一知覚を拒む」

日時:9/5(土)14:00~15:30
会場:中二階ロビー 対象:どなたでも
定員:20名 参加費:無料 要事前電話申込
進行:橋 美貴(当館学芸員)

ワークショップ「偶然を見つけよう!!」

日時:9/6(日)13:30~16:30
会場:中二階ロビー・高松市立中央公園 講師:飯川雄大
対象:小学4年生以上(小学生は要保護者同伴)
定員:10名 参加費:1000円(材料費込) 要事前電話申込
内容:ビデオカメラを使って、美術館の中や外の「偶然」を見つけに行こう!みんなで集めた「偶然」は、編集して上映会をします。

※カメラ機材は、美術館で用意します。
※新型コロナウイルス感染症対策のため中止になる場合があります。
電話申込:8/4(火)8:30~ 電話番号:087-823-1711

【同時開催】

「高松市美術館コレクション+(プラス) 身体とムービング」展 7/23(木・祝)~9/6(日)

「世界が絶賛した浮世絵師 北斎」展 9/12(土)~10/18(日)

★詳しい展覧会情報は高松市美術館HP等をご覧ください。



【交通のご案内】

- ・JR四国/高松駅下車、南へ徒歩約15分
- ・ことでん/瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
- ・バス路線/〈ショッピング・レインボー循環バス〉
- ・紺屋町バス停下車、徒歩約2分(まちバス)丸亀町参番街下車、徒歩約3分(高速バス)県庁通り下車、徒歩約8分
- ・駐車場/美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車約144台収容)



高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4
TEL. 087-823-1711 FAX. 087-851-7250



飯川雄大(いしかわ・たけひろ)

1981年兵庫県生まれ、同地を拠点に活動。人の認識の不確かさや、社会の中で見逃されがちな事象に注目し、鑑賞者の気づきや能動的な反応を促すような映像、写真、インスタレーションを制作。2019年「六本木クロッシング2019展:つないでみる」(森美術館)、「美術館の七燈」(広島市現代美術館)に出品。2020年7月には、ヨコハマトリエンナーレ2020「Afterglow 一光の破片をつかまえる」に出品予定。

1:《デコレータークラブ 配置・調整・周遊》AMAGASAKI A-LABでの展示風景(2019) 2:《ハイライトシーン-数センチのポジショニング》黄金町エリアマネジメントセンターでの展示風景(2015) 3:《デコレータークラブ-ピンクの猫の小林さん-》横浜市長谷区での展示風景(2020) 4:《デコレータークラブ:Very Heavy Bag》広島市現代美術館での展示風景(2019) | 撮影: 琴生 田兵吾 (1)、笠木晴之 (2)、阪中隆文 (3) ※すべて参考図版